

香里学園時代

——阿南先生は、同志社と合併する前の、香里学園時代から、同校で先生をなさっておられたとうけたまわっていますが……。

阿南 そうです、学校法人香里学園時代から。昭和二十四年に新潟の公立高校から移って参りましてね。私、大阪出身でして、生野中学校を卒業しまして、京都の高等蚕糸学校〔工芸繊維大学の前身〕に学んだのです。戦時中のことで、卒業してすぐ兵役。除隊になって一年ばかり会社に勤めたあと新潟の中学へ赴任したのですが、その後何回も召集され、終戦を九州で迎えました。

戦後、新潟へ復職しましてからも、両親が大阪にいるものですから、機会があれば帰りたいと思っておりましたら、香里学園が教員を求めているとききまして赴任することになったわけです。生物の担当です。

——昭和二十三年四月に新制香里学園になるまで、第二山水中学校（中水）だったんですね、昭和十五年四月開校で。創立当初は大阪偕行社中学校といった……。

阿南 私が来ましたときは、すでに香里学

園になっておりました。

——はい、先生が来られたころは。当時は教員も生徒も少なかつたんでしょう。

阿南 少なかつたですね、中学校が五クラス、高校は二クラスほどで……。あの頃は公立中学がまだ十分整備されていませんでしたから、中学は私立、高校は公立という傾向がありました。香里でも中学卒業のいいのが、みな公立へ進学するんですよ、高校の生徒集めに苦労しました。

——同志社と合併後も、しばらくそうだったようですね。

阿南 いや、合併前がもっと苦しかったですよ、教員が手分けして、中学や小学校を回りましたねえ、生徒を送って欲しいと頼むのです。設備もわるかつたうえに、盗難がしょっちゅうあり、一晩のうちに窓枠ごと一教室の窓ガラスを全部盗まれるとか、渡り廊下の電線をとられましたり、ひどいものでした。淋しい場所だった上に設備もわるい、体育館などよく床が抜けたりで、生徒を魅きつけるものがなかつたのです。

——学校の周囲は淋しかったんですか。

阿南 淋しかったです、一面の竹藪でした

阿南里士 香里中学・高等学校

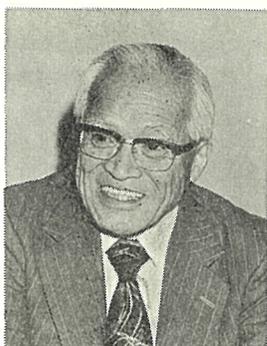
前校長に聴く

同志社香里の三十年

聴き手

河野仁昭

（社史史料編集所）



阿南 里士氏

ね、京阪の駅から学校までの通学道路だっ
て、板を一枚渡してあるだけという状態の川
があつたりで、男子だからまだ通えた、女子
だったら駄目ですね、あれでは。(笑)
学校の建物そのものは、戦時中のものです
が、軍のバックがあつたせいだと思いま
すが、いい材料を使つてありました、とくに講
堂などよかったですね。

——早稲田大学との合併の話があつたとう
かがつておりますが、先生が赴任されてから
ですか。

阿南 そういふ話があつたことは聞いてい
ますが、私は赴任したばかりでしたから、詳
しいことは存じません。どうして実現しな
かつたのかも。香里と致しましては、高校に接
続する大学がないことが生徒の集まりが悪い

大きな原因のひとつだと考えていましたか
ら、なんとか大学を、ということだったんだ
ろうと思えます。私が就任した翌年、昭和二
十五年には、中学校も四クラスに減り、ジリ
貧の状態でした。設備は悪くなる一方で…。

同志社との合併

——同志社との合併の経緯についておきか
せいただきたいのですが。

阿南 この問題も、私はあまり詳しくない
のです。たしか同志社高校の父兄会長をされ
ていた柴田勝正氏から、お話が持ち込まれた
ように記憶しています。香里学園が大学のあ
る学校と合併してもよいという意向をもつて
いることを知った柴田氏は、同志社には大阪
方面へもっと発展したいという希望があるこ
とも知っておりましてね、中田守雄理事長、
高木及言校長などと話あい、柴田氏を通じて
話が運んだようです。そして、昭和二十六年
の夏、合併をみました。

——柴田さんは、ご健在なんですか。

阿南 お元気ですよ、枚方市にお住いで。
ご長男は同志社岩倉高校、次男は同志社香里
高校を卒業されました。

——高木及言先生は？

阿南 ご健在です。泉北ニュータウンにお
住いで。昔、剣道をやっておられた体の大き
な方ですが、最近足が弱りまして、あまり
出歩かれなくなりましたが。

——山水中学校時代からのただ一人の役職
者だったんだそうですね。同志社との合併を
実現されて勇退された…。

阿南 そうです。大阪の公立中学におられ
て、教頭で山水中学校へ赴任されたとうかが
つています。香里学園時代には、先生のお宅
は堺市の海の近くだったものですから、夏に
なると生徒を一週間ばかり堺市出島の浜へ通
わせましてね、水泳をさせるんです。先生も
朝起きるとまず海水浴をされ、それから登校
されるといった具合で、お元気な方でした。

——合併問題となると、ご心労は多かつた
でしょうね。

阿南 大変だっただろうと思えます、学校
の運命を大きく左右することですから。合併
と決まると、何名かの先生が退職されました
しねえ。

——キリスト教主義学園との合併というこ
とを、香里ではどう受け止められたんでしょ

うか。

阿南 キリスト教主義については、教員の間でもあまり話合われませんでした。同志社という学校と一緒にいるんだということで話が進んだように思います。そうは申ししても退職された先生方には、キリスト教に対する異和感があつたかも知れません。

——生徒諸君はどうだったんですか。

阿南 合併と同時に全校生徒が同志社の生徒になるわけですから、私なども心配致しました、どう反応するかと思ひましてね。予科練など軍隊がえりの猛者もいましたしねえ。

しかし、山水中学校時代の生徒は軍人の家庭に育つたせいとか、礼儀正しく、問題を起すようなことはなかつたんですよ。合併になりました「香」の字の徽章やボタンを、全員が一斉に同志社の徽章につけかえましてね、外見はそれだけのことですが、感慨ふかいものがありました。卒業生のなかには、合併に批判的な意見も若干あつたようです。在校生はまあそういったふうで、心配したような問題もなくて……。最初のうちは礼拝など珍しかったんじゃないですかねえ、「どんなことするんやろ」(笑) と、好奇心で臨んでいたよ

うです。

山田貞夫先生のことなど

——合併して最初の校長は、岩倉高校から行かれた山田先生ですね。どんな先生だったんですか。

阿南 教育にとっても熱心な、厳しい先生でした。校長を勤めながら宗教を担当しておられました。校長はクライという評判でしたよ。一面また碁がお好きでして、先生方よく碁を打っておられました。合併問題の最中から合併後にかけてむずかしい問題もいろいろあり、朝早くから夜おそくまで、本当に熱心に勤められましたよ。

——山田先生は大学の予科長から同志社高等学校長になられた方ですね。高校が岩倉へ移転して一年そこそこで香里へ移られたわけでしょう、岩倉だってまだ十分整備されていなかったのに、どうして香里へ移られたんでしょうか。新島先生は最初、大阪へ学校をつくるつもりだった、その念願を果たそうという使命感からでしょうか。

阿南 そうかも知れませんが、合併の話もち出したのが柴田氏でしょう、岩倉高校の

父兄会長で山田先生のそばにおられた、そういう関係もあつたのではないのでしょうか。

——新制高校になるとき、山田先生は公立高校よりレベルの高い学校にしようと言われて、カリキュラムとか教員人事とかに独自の構想を發揮されたときいています。香里中学・高等学校の校長としてはどうだったんですか。

阿南 同志社高校ではフランス語やドイツ語などを選択科目に置いたことですね、私もそれはきいております。しかし、香里では宗教と礼拝の時間を設けた以外は香里学園時代のままで、いまでも選択科目は置いておりません。合併が学期の途中、つまり九月だったということも理由のひとつかと思ひますが、大きく変更されなかったことが結果的にはよかつたように思います。合併当時新任でこられた教員は七、八名、あとは香里学園から残つた教員でしょう。京都の桃山高校から山田先生と一緒に赴任され、教頭になられた下山敏男先生は英語担当でしたが、そういった先生などのご意見もあつたのかも知れません。

合併当時、同志社香里教育委員会というのがあつて、同志社本部や大学からも来られ、香

里の教員も加わりまして、教育の在り方を話合っていたようですが、そこでどういうことが話題になったかは存じません。

——山田校長時代には、山水中学校時代の校風が残っていたわけですね。

阿南 そういつていいと思います、その後だんだんゆるみましたが（笑）。まア、社会の風潮もございませうからね。もっとも、合併当時から礼拝の時間に近くの竹藪の中へ逃げ込むような生徒はおりました。教員が探しに行くんですが、藪は深いし墓地などがあるし、一人ではこわいような所でしたよ。

——いまはもう、隠れる場所はございませぬね。（笑）

阿南 なくなりました。見晴しもよかったです、それも住宅がいっぱい建ちました。まア、そういった生徒たちを、先生方が長い時間をかけて教育してこられたわけです、それぞれの授業などを通じてね。

山田先生は、新しい学校建設という困難な時に、困難なるが故に就任され、定年ご退職まで本心に熱心に勤められました。また、他の先生方もよく協力されましたよ。

香里中高の新しい波

——山田先生が退職された後は、下山先生が校長になられたんですね。

阿南 下山先生が数年やられ、村岡景夫先生、大橋寛政先生、生島吉造先生、大塚英雄先生、そして私といった順で……。

——下山校長時代から、香里はめざましく発展しますね、生徒もふえ、校舎も新しくなり、といった具合で。ところで、高校生の制服はいつから廃止されたんですか。些細なことなのですが、そのことがもっている意味は、香里中高の歴史をふりかえってみますと大きいように思うのですが。

阿南 生徒会との話し合いは生島吉造校長の時代で、昭和四十六年でございませぬ。全国の大学におこった学園紛争がやや下火になった頃でした。紛争は全国的に高校にも影響がありましたね。私、当時補導主任で、生徒会その他と一年間話あいました。

中学校を含めまして同志社の諸学校で制服制帽を着用している学校は香里だけであり、大阪府下の公立高校でも制服は少なくなりつつあった時です、時代の流れなんでしょうね。

え。服装を自由にして欲しいと生徒会から入れがありました、教員会議でも検討し、生徒会の代表とも話あいましたね。最初は説得につとめたわけですが、派手になってはいかんということで、一番それを心配致しました。

——PTAの諒解はえられたんですか。

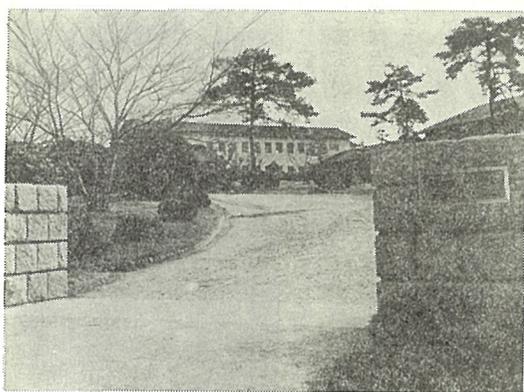
阿南 相談致しました。その結果、「好きなことではないが、生徒がたつて希望するなら仕方ないでしょう」ということになりました。「生徒としての節度を乱すようなことがあってはいかん」と、随分注意を致しましたが、案外スムーズに自由化へ移行致しました。そう派手になるといふこともありませんでしたしね。ただし、中学校は現在も制服制帽を着用しております。

——紛争当時、他に問題になったことはなかったですか。

阿南 礼拝問題が出ました。

——岩倉高校もそうでしたね、似ておりませぬ。

阿南 「礼拝の出席の自由を認めて欲しい」というわけですが、それまでも、冬の寒い朝など出席のわるい時もありました。学校としては、種々の条件を考慮しまして、強制は



正門から本館（創立当時のまま）をのぞむ

しないという方針で臨むことにしたわけ
す。しかし『生徒手帳』には従来どおり「礼
拜には出席すること」と記載してあります。
これは学校の教育上の原則ですから、崩すわ
けにいけませんので。

生島吉造先生のこと

——山水中学校の流れをくむ香里中高も、
そうして徐々に変貌してきたわけございま

すね。その過程における歴代の校長先生ほか
いろんな先生方のお話もつけたまわりたいたの
ですが、たまたま紛争中に校長を勤められた
生島先生は、先日（昭和五十四年九月二十日）
亡くなられましたですね。

阿南 そうなんです。最近ご健康がすぐれ
ないというお話はうかがってあったのです
が、急なことで……。あのようなど病氣（肝
臓ガン）だったとは知りませんでした。

——生島先生は、しばらく法人本部の庶務
部長をしておられて、大橋先生の後任校長と
して、昭和四十三年に香里中高へ復帰され
たんですね。大学は大変な時代でしたが香里も
心配ごとが多かっただろうと思います。生島
先生はどのような方だったんでしょうか。

阿南 スポーツに非常に関心がおありでし
たよ。たとえば桜美林高校との野球の交歓試
合とか、早稲田高等学院とのラグビーの交歓
試合は、生島先生のご尽力で実現し、いまで
も続いております。交歓試合というと、退職
されてからも観戦に来られました。

——最近もですか。

阿南 昨年も来られました。それから、先
生は早くお子さんを亡くされたことにもよる

と思いますが、大変生徒思いでした、可愛が
るといいますか。たとえば校長時代など、夏
でも冬でも、毎朝、校門の松の木のところへ
立たれて、登校してくる生徒と挨拶を交され
るんですね。生徒は八時十分か十五分ころか
ら登校して参りますが、その時刻にはもうち
ゃんと立っておられました、冬の朝などオー
バーを着ましてねえ。ご自宅は京都の上賀茂
ですから随分時間がかかるんですね、学校まで
ねえ、それも年中、毎朝なんですよ。そのお
姿がつよく印象に残っております、とても他
の者は真似のできないことです。

そういうこと以外でも、生徒のこととなる
と本当に気をくばられましたですね、非常に
可愛がられたということだと思っております。あ
んなに急に亡くなられるとは、夢にも思いま
せんでした。

——私などは庶務部長としての生島先生し
か存じ上げないんです。この『同志社時報』
も、確か生島部長の時代に創刊されたはずで
す。それでも私など、生島先生は香里の先生
だという先入観のようなものがございますし
て、庶務部長は仮のお姿、そういう感じでした。
そんなに生徒思い、教育に熱心な方です



故生島 吉造氏

と、やはり教育の現場での働きに使命感と申しますか、生き甲斐を感じておられたんだらうなと思います。もの静かで、なんとなく寂しそうでしたが、お子さんを早く亡くされたことと関係があるのでしょうか。

阿南 やはり、そうじゃないかと思えますね。

香里の出身者たち

——生島先生がスポーツに関心がおありだったという、その影響かどうか存じませんが、香里高校から大学へ進学した学生はスポーツ団体へ入る者が多いですね、とくにマネージャーが多い。

阿南 スポーツが好きと申ししても、際立ってすぐれた選手がいるわけではないんで

すよ。ただ、人の世話をしたりするのは得意なんです(笑)。社交性に富んでいるということでもあろうと思います。進学で勉強、勉強と詰め込まれることもありませんし、人間のどちらかという屈託がなく、のんびりしておって、人づきあいいい。それで大学でも社会でも、よく人の世話をやらされていきますね、そういう卒業生が多いようです。

——教育環境もよろしいですね。

阿南 まあ、駅からちょっと距離はありますが、環境はいいです。一人一人の生徒とつきあってみますと、本当にいい子が多いですよ。勉強もそこそこやり、スポーツもやり、のびのびと生長させる。人間を育てる教育のあり方としては、それでいいんじゃないでしょうか。

——以前は、香里高校出身者は英語がヨロイという評判でしたが(笑)、最近きかないですね。先生方のご努力が実を結んだのではないかと思ってるんですが。

阿南 最近では英文学科へでも進学したいという者が出るようになりましたよ。以前は希望する者がいなくなったのですが、教育の効果は、単に授業時間をふやせば上るとい

ものではないようですね、やはり一定の時間をかけてのちに、徐々に効果が現われてくるというものではないかと思えます。

同志社香里の三十年

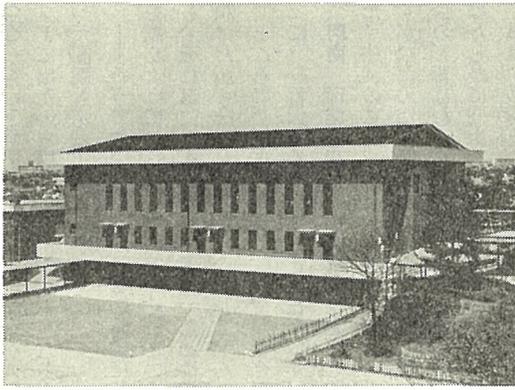
——すると、山田校長時代からのご努力が徐々に実を結んできたという……。

阿南 そういうことではないかと思えます。

——男子だけの教育を、ずっと続けておられるのは、なにか特別の教育方針があつて……。

阿南 いや、そうではありません。以前、男女共学にしてはどうかという話もでていたんです。全国的に中学・高校進学者が横這い状態もしくは減少の傾向に向いつつあったときですね。女子も受け入れることにしたほうが安定するのではないかと……。しかし、女子を受け入れるとなると、それ相当の設備もしなければならぬでしょう、それで時期尚早ということで見送りになったのです。

現在でこそ学校の周囲は住宅地になりましたが、以前は淋しいところでしたから、女子に門戸を開きましても来る者はいなかったで



香 真 館

しよう(笑)。そんな状態でもありましたのでね、山水中学校、香里学園時代から男子だけの学校として今日に至ったわけです。男子だけのほうが、授業もやりやすいですよ(笑)。大阪には古くからの男子だけの私立の学校が九校あります、私学七十一校中九校です。その学校の校長の会合を持ちまして、意見交換とか、教育上のいろんな問題について話あっております。いまからでも共学にした

ほうがよいという学校は、その九校の中にはございませぬね。

——昭和五十二年に講堂を建てかえられましたですね。

阿南 老朽化してましたのと、生徒がふえて狭くなりましたのでね。山水中学校時代の建物は、校長室のある本館と、体育の部室になっている教室(一号校舎)だけになりました。

——新しい講堂(香真館)の収容人員は何名でございますか。

阿南 一三五〇名ぐらいです。一階が千人、二階が三五〇名ぐらい。普段は一階だけ使っています、指定席制に致しまして。

——指定席ですか。

阿南 席を決めてあります、そうしておきますと混乱致しませんし、今朝はどのクラスの出席がよくないということがわかる(笑)、一目でわかるのです。そのせいでもないでしょうが、礼拝の出席はよろしゅうございますよ。

——香里では、礼拝の奨励は先生方が全員で、交替でされるところかがっておりますが。

阿南 校長とか宗教の先生方だけですと、

話も偏りますし、変化がない。また、教室でしゃべったことと同じ話をするにもなりませんからね。水曜日の特別礼拝と校長・教頭が奨励をする日以外は、すべての先生方に分担していただきましてね、体験談とかスポーツの話とか、自由にやっていたにいたっているのです。十分かせいぜい十五分でしょ、そんなに負担にならない。生徒のほうもちがった先生からちがったお話がきますから、変化があつてよろしいし、ちょっとした体験談などが記憶に残るということもありますからね。水曜日だけは外部から牧師さんを招きまして礼拝らしい礼拝をやっておりますが。

「もっと宗教的な礼拝にして欲しい」という意見もあり、「学校は教会ではないのだから」という意見もありましてね。学校礼拝のあり方につきましては、もっと考えてみるべき問題はあろうと思いますが、いちおう現在のようになかたちに定着致しまして……。

——大学など、チャペル・アワーはありますが、ほんとに出席者が少ないようです。考えてみる余地が確かにあると思います。

阿南 卒業生に大学のキャンパスなどではありますとね、「大学には礼拝がないんです」

(笑) という者がおりますよ。チャペル・アワーに出たいと思っても、授業と重なるといった問題もあるようですね。

——そうです、数年前からその時間に授業を置くようになりましたので。それというのも、それ以前から出席がわるかったわけですね、だからそうなってしまいました。

ところで、同志社香里になってから今日までに、一番大きく変わったことはなんですか。

阿南 環境の変化、これは先ほど申しました。生徒のことでは以前は礼儀正しかったですが、だんだんそうでもなくなりまして、社会の影響はむろんありますが。それと、学力はたしかに向上したと思います。

私は、教育というものは、精神的に余裕をもってのびのび成長するようにさせることが大事だと考えますね。毎日、毎時間、勉強ばかり強制していたのでは、よい人間を育てることはむずかしいでしょう。幸い大多数の者が大学へは推薦で入学できるわけですから、その特徴を生かした教育をすべきだと、私は思うのです、人間を育てることですね。同志社になりますと三十年の間に、そういう教育の特色は出るようになってきたと思っております。

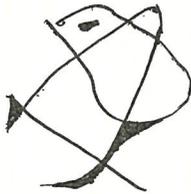
ます。

——もう、三十年になりますか。

阿南 来年の九月で三十年です。早いようにも思い、いろんなことがあったなアとも思っていますね。

——香里中高は三十年の間に、同志社の一員でありかつ独自の伝統を形成してきたわけですね。長時間ありがとうございます。

(一九七九年十二月七日収録)



Life and Letters of Joseph Hardy Neesima 復刻XING

新島襄先生の恩人アルフィアス・ハーディー氏の三男の編になるこの書は、先生の自叙伝、日記、ハーディー夫妻宛の手紙を中心に伝記風にまとめられたもので、一八九一年ボストンで出版された。その後ほとんどの先生に関する伝記はこの書を原本として書かれている。今まで各方面から復刻が望まれていたが、さる一月二十三日の先生没後九十周年を記念して同志社大学出版部より復刻された。

この書の英文は読み易く、なによりも第一級の資料が豊富である。先生の生い立ち、密航の理由、アメリカでの九年間の学生生活、田中不二磨との米欧教育視察、同志社英学校の設立、大学設立運動、キリスト教の伝道、二回目の欧米旅行、など先生の思想と行動を主に先生自身に語らしめた伝記で、キリスト教史的にも貴重な書物である。

復刻は初版本をほぼ正確に再現している。新島研究等に活用していただければ幸いである。A5版、三五〇ページ、上製本一五〇〇円、同志社本部収益事業課扱い。